

令和4年度 学校経営方針

東大和市立第一小学校

校長 石田 玲奈

<p>教育目標</p>
<p>◎ よく考える子ども ○ 思いやりのある子ども ○ たくましい子ども</p> <p>「よく考える子ども」を重点目標とし、児童の考える力を育成することにより、学力向上を達成し、社会性の向上を目指す。</p>
<p>目指す学校像</p>
<p>地域の教育資源を最大限に活かし、多くの人とのかかわりの中で様々なコミュニケーションの場を通じて、児童一人一人が社会の中でたくましく生きる力をはぐくむ学校</p> <p>○志をもち、自ら学び、考え、行動する力の基礎となる確かな学力を定着させる学校 ○互いの人権を尊重し、自他を大切にする思いやりと規範意識をはぐくむ学校 ○家庭、地域、学校との協同により、児童が学校、地域への愛着をもち、家庭、地域から信頼される学校</p> <p style="text-align: center;">教師、児童が「命」と「志」を大切にする学校 キーワードは、「危機管理」と「人材育成」</p>
<p>学校経営の基本方針</p>
<p>(1) 確かな学力の向上—授業力の向上、学びの保障、1人1台端末の効果的な活用、OJT推進 (2) 豊かな心の育成—生命や人権を尊重する教育の推進、いじめ防止の取組の充実、危機管理と組織対応、キャリア教育の充実、体育授業の充実 (3) 保護者、地域との連携、信頼される学校づくり—創立100周年式典等を通して家庭、地域との連携強化、児童の愛校心の向上、家庭、地域への発信と家庭、地域からの受信、信頼される教職員組織、教職員の心身の健康保持増進</p>
<p>具体的な取組</p>
<p>(1) 確かな学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善推進プランに基づき、1単位時間のめあてと評価を明確にした授業の実践 ・校内研究、校内OJT等を中心とした授業力の向上及び人材育成の充実 ・各教科等において1人1台端末を効果的に活用した授業の実践 <p>(2) 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童を中心に据え、一人一人を大事にする支援、指導 ・児童の内面の表出を「温かく待つ、聴く、受け止める」姿勢を大切にした対応 ・挨拶指導の徹底（日頃から誰にでも自分から挨拶をする習慣の徹底） ・道徳や特別活動において、いじめに関する授業を年3回以上実施、日常的にいじめ防止や規範意識の醸成に関する学習指導の充実 ・学習評価や体験的学習を通して、児童に成功体験や自己肯定感の高揚を積み重ねることにより豊かな心を醸成

- ・ 体育授業、体育的活動の工夫による児童の体力向上と運動に対する意欲の向上
- ・ 地域人材、外部人材等の活用によりキャリア教育を充実させ、将来への志をもち、志に向けて自ら行動しようとする力の育成

(3) 家庭、地域との連携、信頼される学校づくり

- ・ 創立 100 周年式典の準備、実施等により家庭、地域との連携強化、児童の愛校心の向上
- ・ 家庭、地域に対する丁寧な情報発信、学校だより、学年だより、学級だより、ホームページ等を活用した積極的な発信
- ・ 教職員の家庭、地域に対する誠実で丁寧な対応と積極的な挨拶
- ・ 緊急時の組織的な対応と服務事故根絶に向けた校内研修等により、服務規律の遵守、意識の醸成、定期的な自己点検、相談しやすい環境整備
- ・ 報告・連絡・相談の行いやすい風通しのよい人間関係づくり、雰囲気醸成、報告・連絡・相談と共通理解を基にした組織対応の徹底
- ・ 働き方改革の推進（会議内容の精選、既存資料の整理及び共有化の推進、時間外勤務時間削減の推進）

年度末の振り返りの視点

(1) 学力向上

- ・ 1 単位時間のめあてと評価を明確にした授業を日常的に実践し、児童に学習の基礎・基本を定着させることができたか。（校内研究の取組も含めて）
- ・ 週ごとの指導計画に、毎時間のめあてを明記し、学力向上のための手立てを講じた授業を計画的に行うことができたか。
- ・ 1 人 1 台端末を効果的に活用した授業の実践内容と回数、成果はどうであったか。
- ・ 校内 OJT、校内研究により、授業を改善、工夫、充実させる手立てを見出し、実践することができたか。

(2) 豊かな心の育成

- ・ 児童対象のアンケート調査等の結果から、児童の豊かな心をはぐくむことができたか。
- ・ 年間 3 回以上のいじめに関する授業の実施及び日常のいじめ防止や規範意識の醸成についての学級指導等により、いじめの発生件数が減少したか。
- ・ 体育授業の改善、体育的活動の工夫により、児童の運動に対する意欲が向上したか。
- ・ 地域人材等を活用し、キャリア教育を充実させ、児童が志をもち、自ら行動しようとする力を身に付けることができたか。

(3) 家庭、地域との連携、信頼される学校づくり

- ・ 学校便り、学年便り、ホームページ等を活用した発信を積極的に行うことができたか。
- ・ 研修や会議等の機会により、緊急時の組織的な体制や対応について、全ての教職員が共通理解を図り、緊急時に対応できる体制を整えることができたか。
- ・ 定期的な自己点検を行うことにより、服務事故の発生しない環境を整え、服務規律を遵守することができたか。
- ・ 学校評価の家庭、地域との連携、信頼についての結果に向上が見られたか。
- ・ 風通しのよい人間関係を築き、報告・連絡・相談と共通理解を基にした組織対応を徹底することができたか。
- ・ 働き方改革を推進し、心身の健康を保持増進することができたか。